

第7回

舞鶴市廃棄物減量等推進審議会

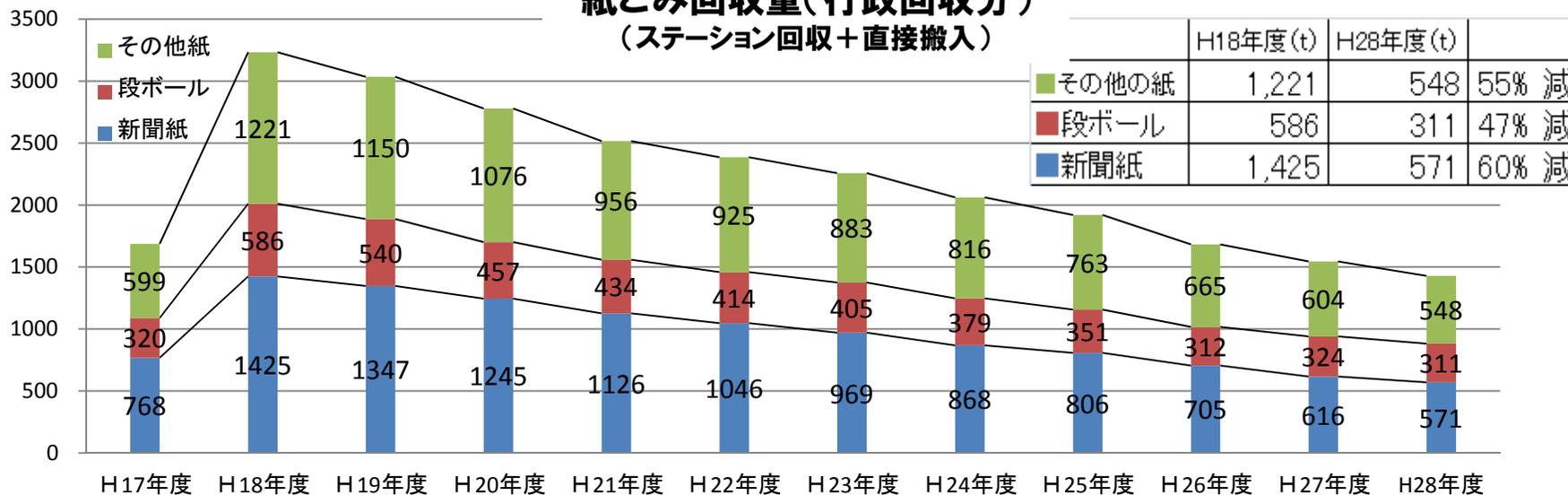
平成30年1月26日

紙ごみの減量

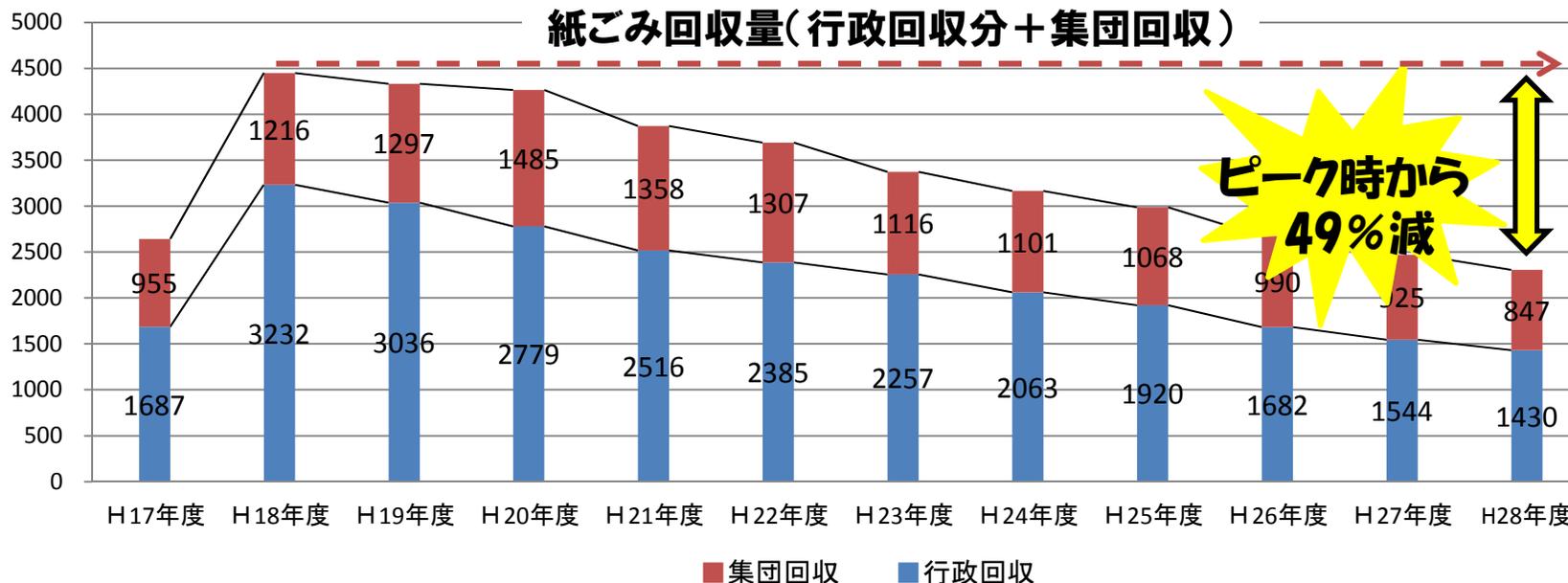
- ①舞鶴市の紙ごみ回収量の推移
- ②舞鶴市における紙ごみの流れ
- ③紙類の需要推移
- ④舞鶴市の可燃ごみ組成割合の推移
- ⑤紙ごみ回収量の減少原因
- ⑥紙ごみ減量・資源化の取り組み
- ⑦本市での今後の取り組み案

①-1 舞鶴市の紙ごみ回収量の推移

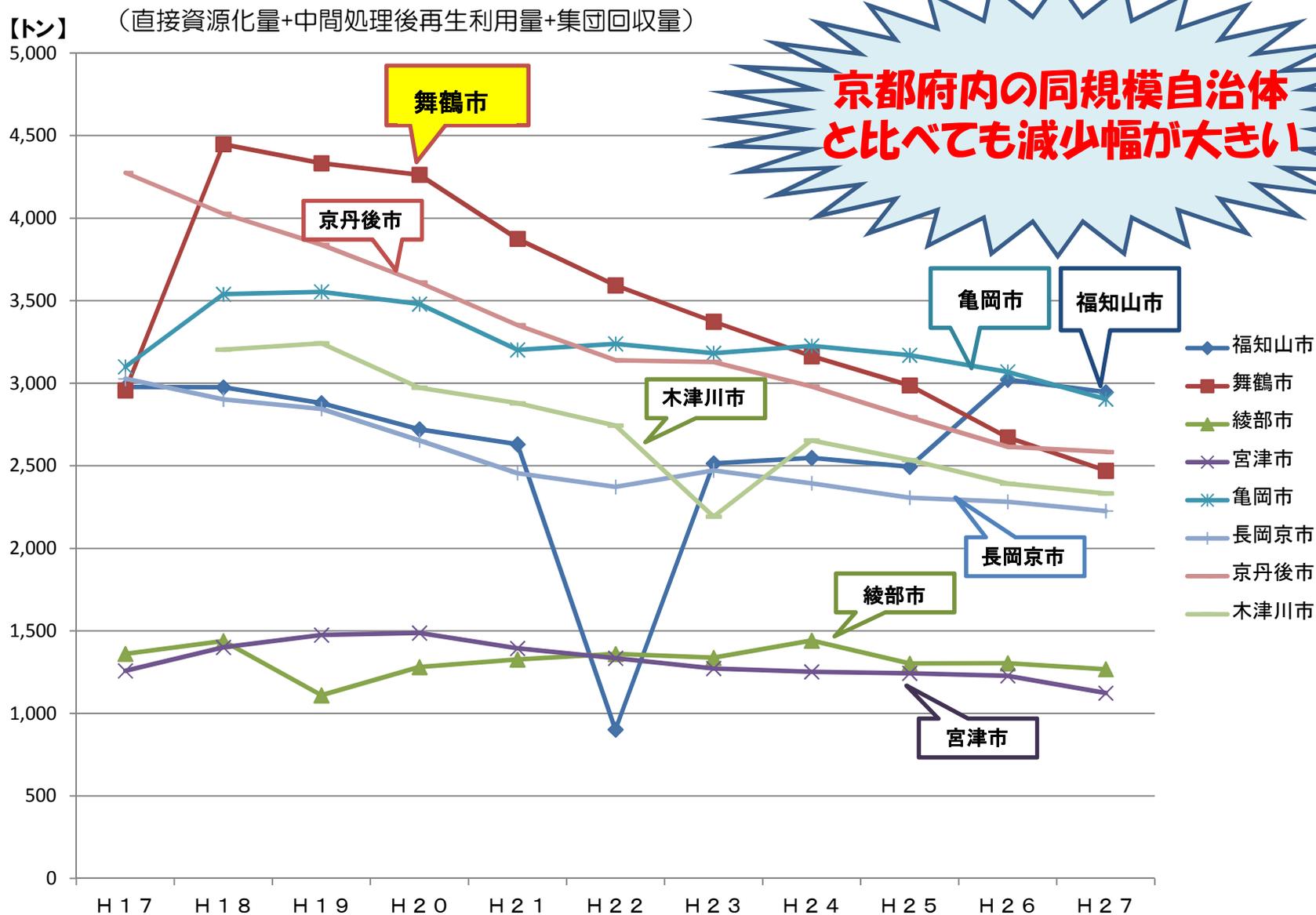
紙ごみ回収量(行政回収分) (ステーション回収+直接搬入)



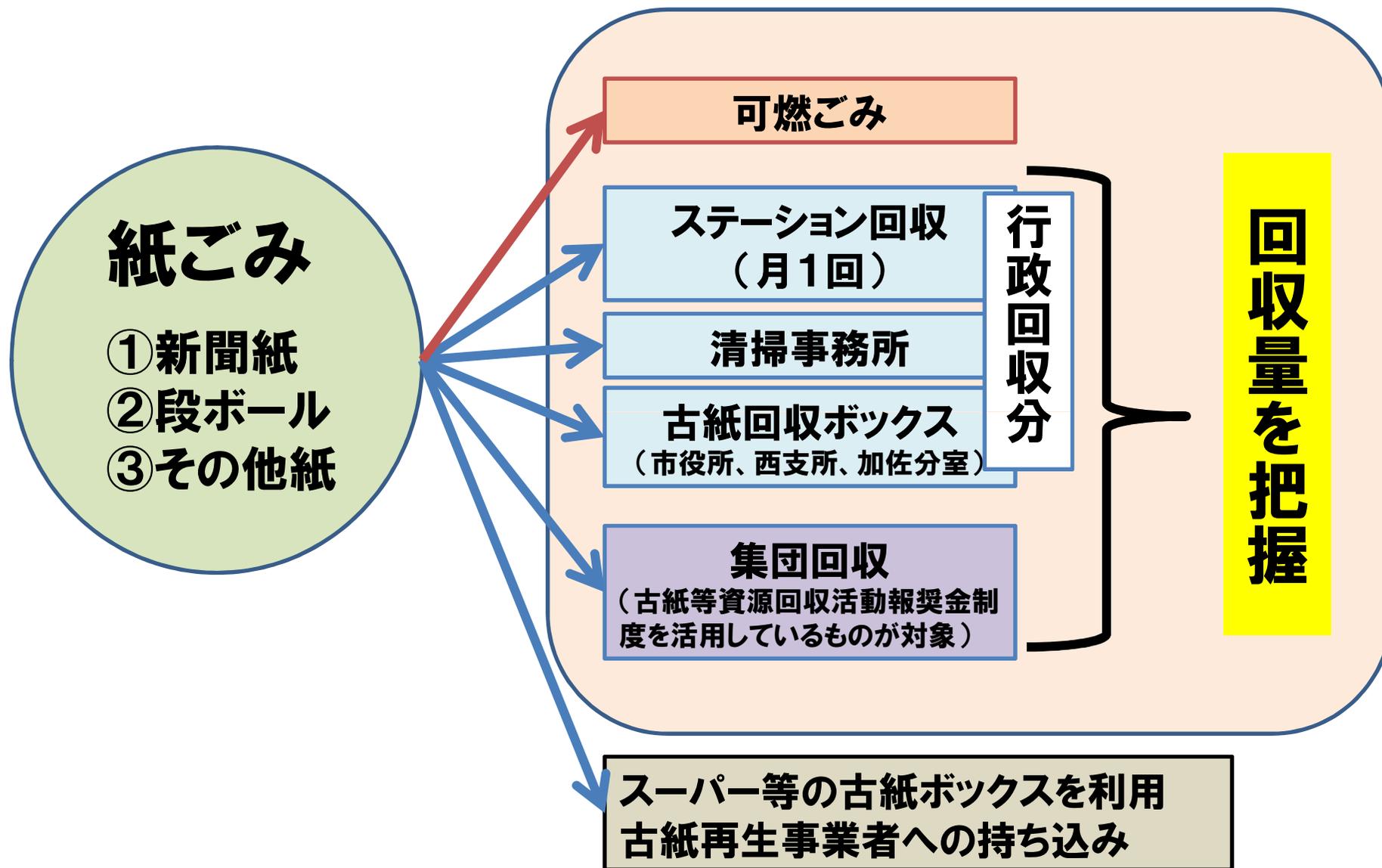
紙ごみ回収量(行政回収分+集団回収)



①-2 自治体の紙ごみ回収量(京都府下)



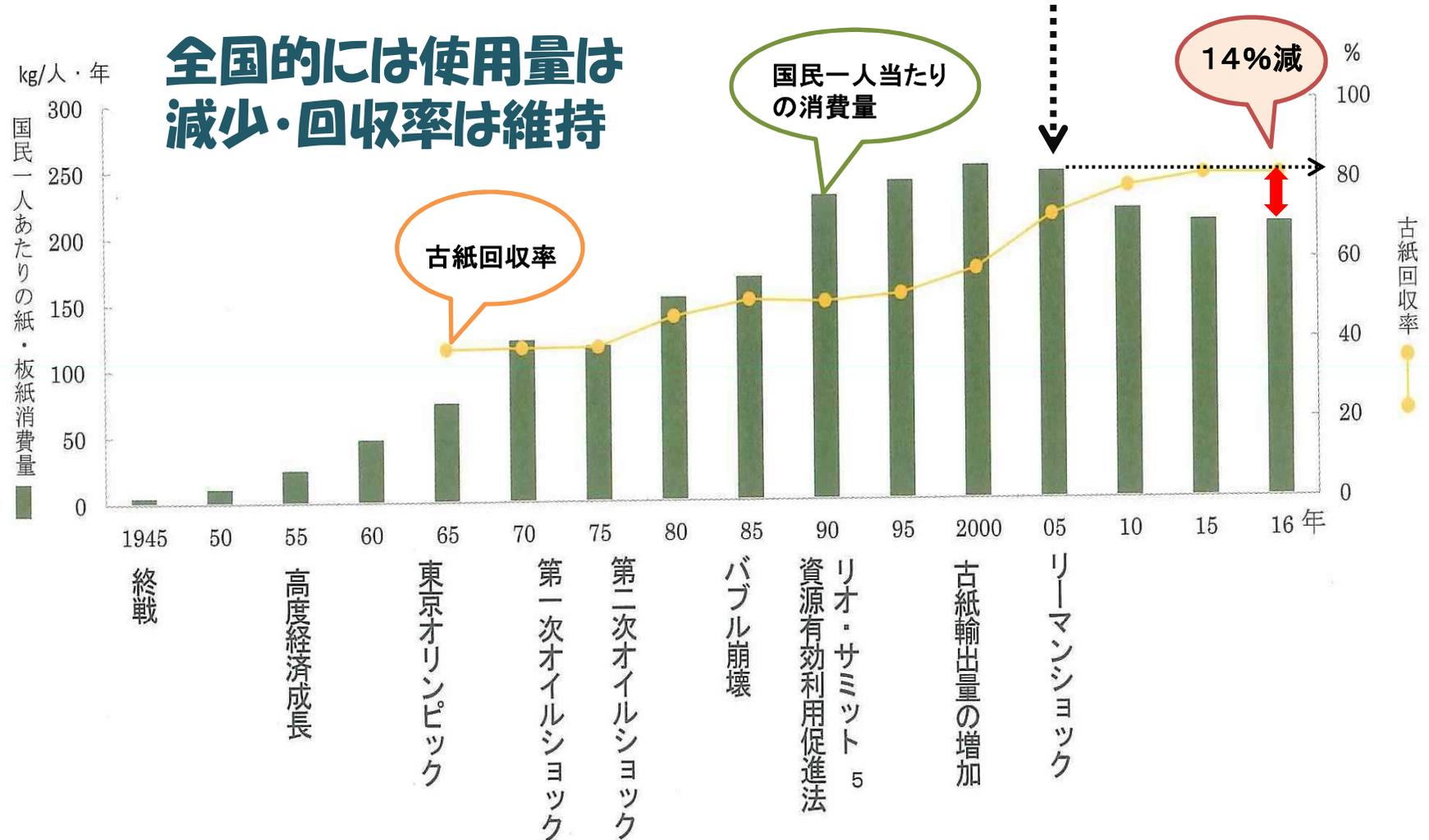
② 舞鶴市における紙ごみの流れ



③-1 紙類の需要推移

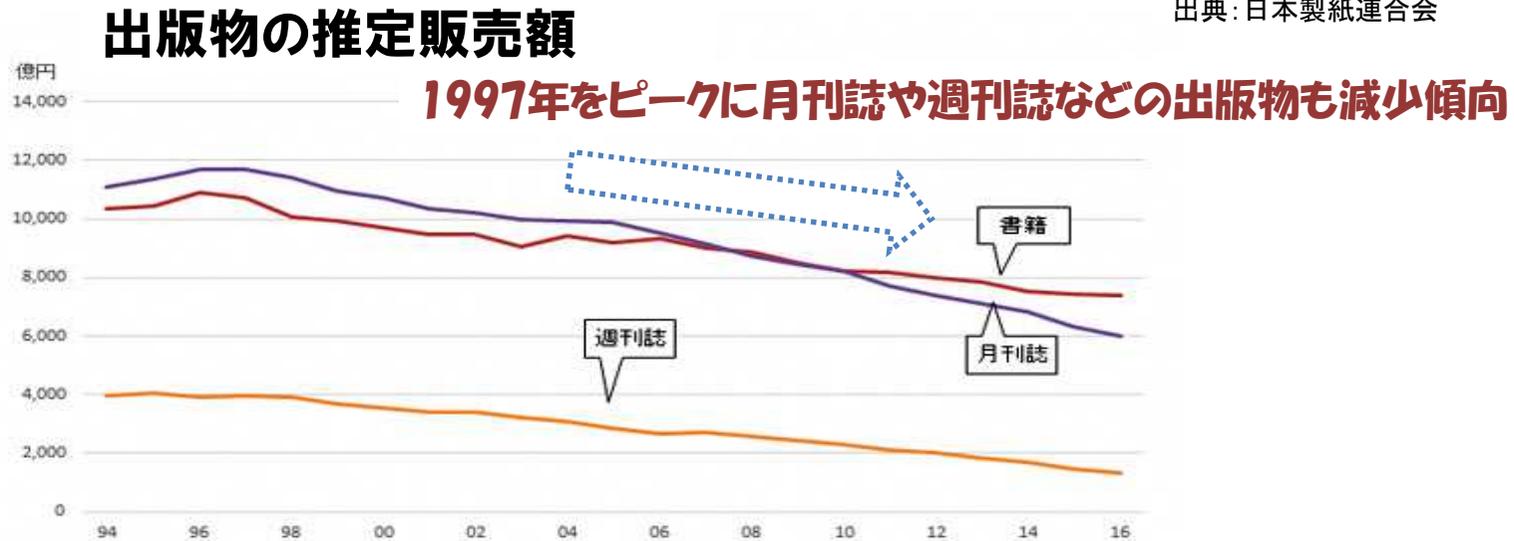
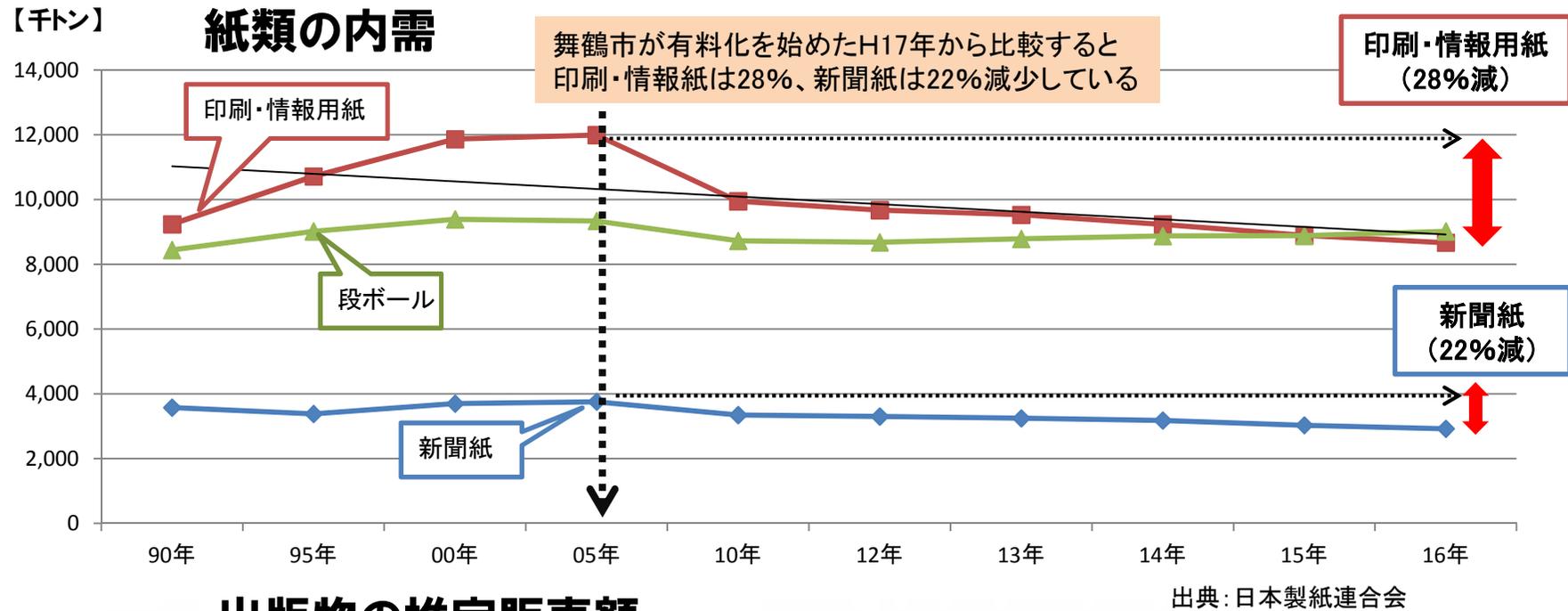
紙・板紙の消費量原単位と回収率の推移

舞鶴市が有料化を始めたH17年から比較すると
国民一人当たりの消費量は14%減少している



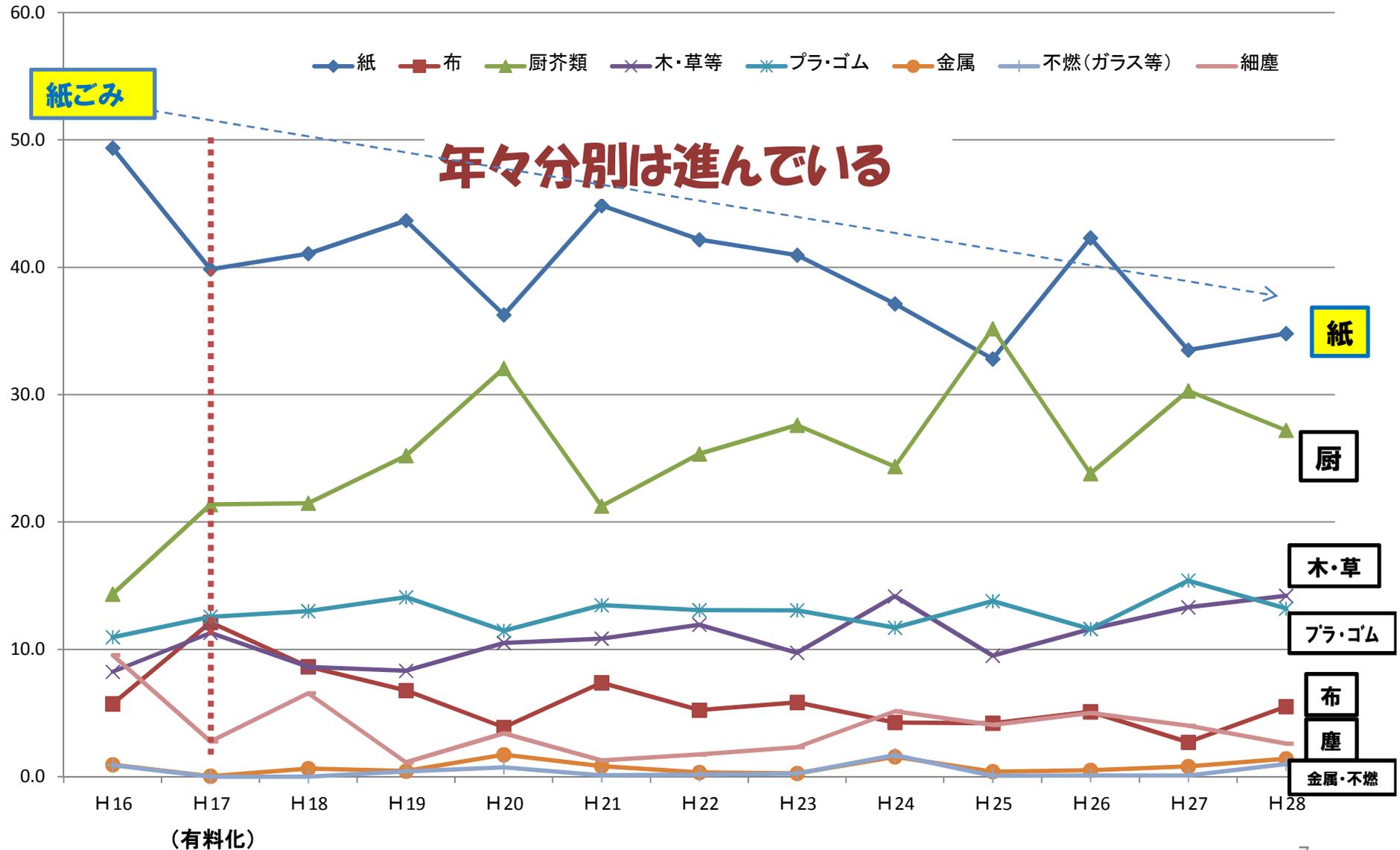
出典:公益財団法人 古紙再生促進センター「古紙の品質を守るために」

③-2 紙類の需要推移

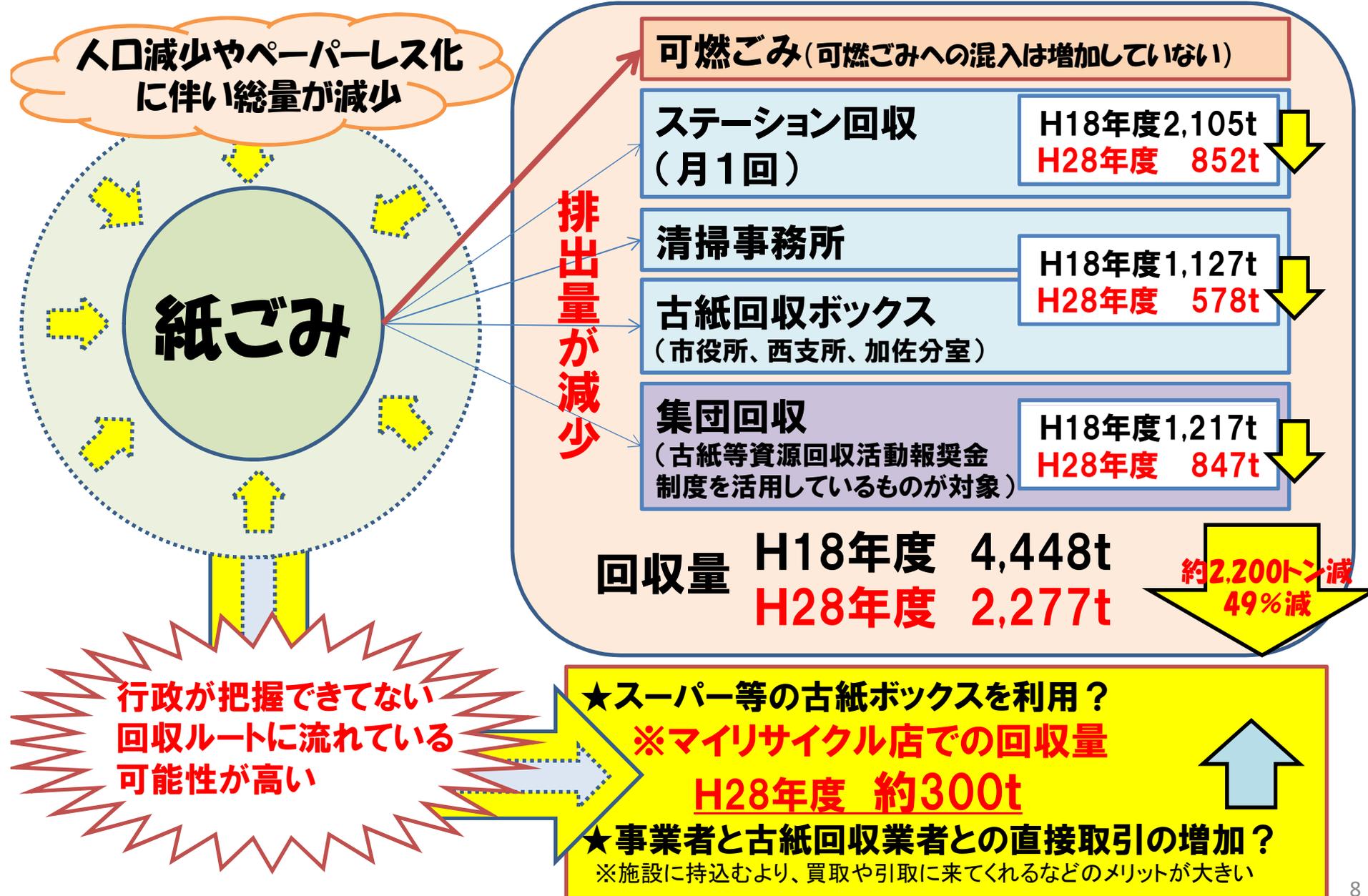


④ 舞鶴市の可燃ごみ組成割合の推移

可燃ごみの組成割合(紙ごみ組成調査)※湿ベース



⑤-1 紙ごみ回収量の減少原因



⑤-2 紙ごみ回収量の減少原因

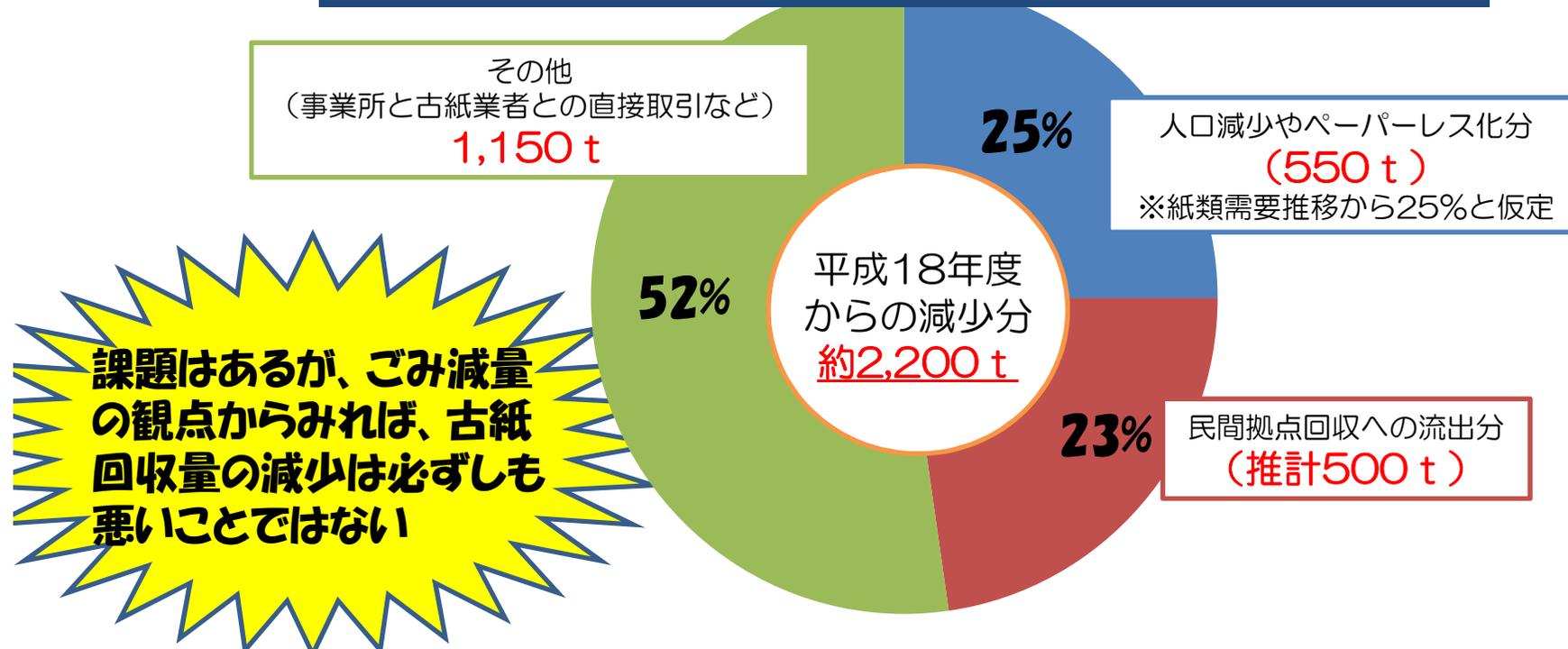
市内の拠点回収状況

| | |
|--------------------|----------------|
| 民間拠点回収 | 平成28年度 |
| マイリサイクル店 (14店舗) | 約300 t |
| その他市把握分 (4か所) | 約200 t (推計) |

民間拠点数(市把握分)

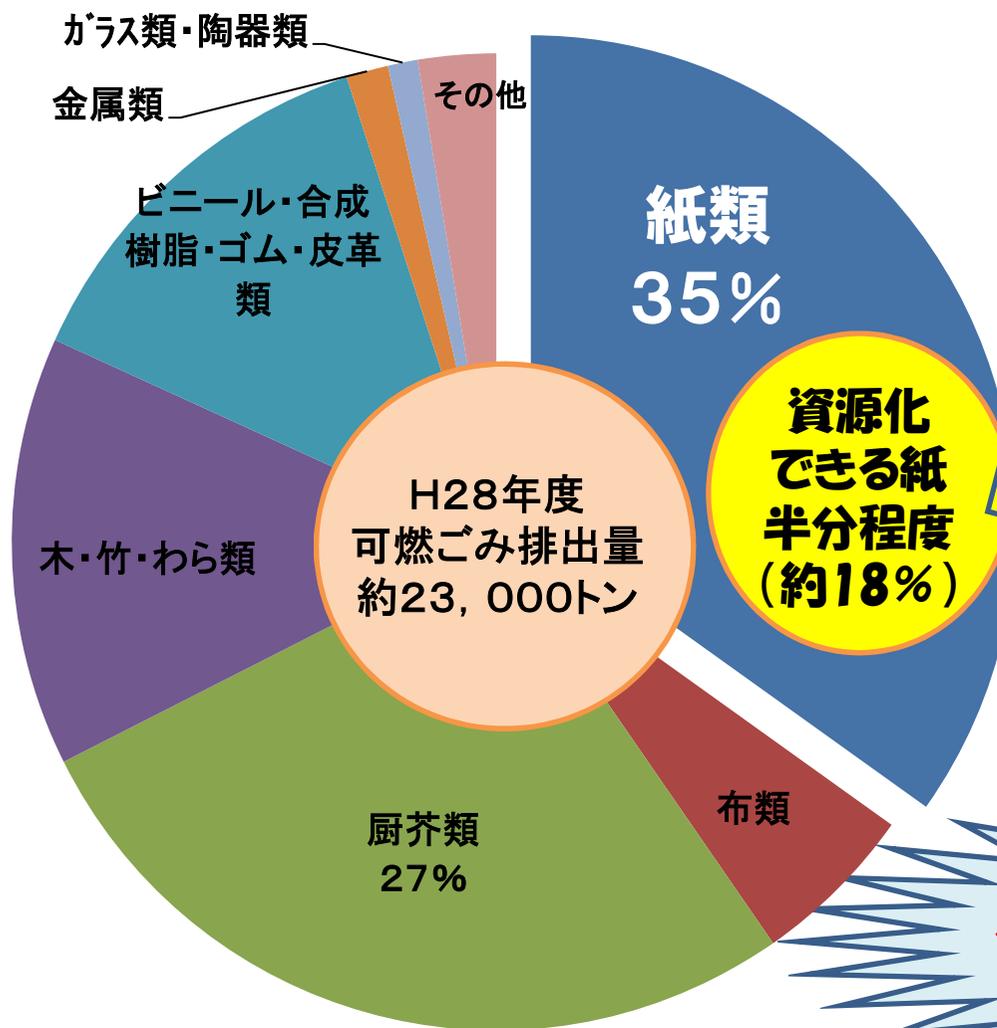
平成18年度 0か所 → 平成29年度 10か所

舞鶴市における古紙回収量減少の原因予測



⑤-3 紙ごみ回収量の減少原因

【可燃ごみに占める紙ごみの割合】



家庭系可燃ごみに含まれる紙ごみ・資源化できる紙の平均割合

| | 紙ごみの割合 | 資源化できる紙の割合 |
|------|-------------|-------------|
| 湿ベース | 31.7%(258件) | 13.7%(135件) |

出典:公益財団法人 古紙再生促進センター
(平成26年度地方自治体紙リサイクル施策調査報告書)

4千トン程度のリサイクル可能な古紙が含まれている

可燃ごみへの混入は増加していないが

分別の余地が残っている

⑥-1 紙ごみ減量・資源化の取り組み

自治体の取り組み

★排出機会の確保

市民や事業所が資源ごみとして出し易い環境づくり

★事業系紙ごみの搬入抑制

資源化できる紙ごみを焼却処理させない

★シュレッダー古紙や機密文書の資源化ルート確保

★分別の徹底(広報啓発活動)

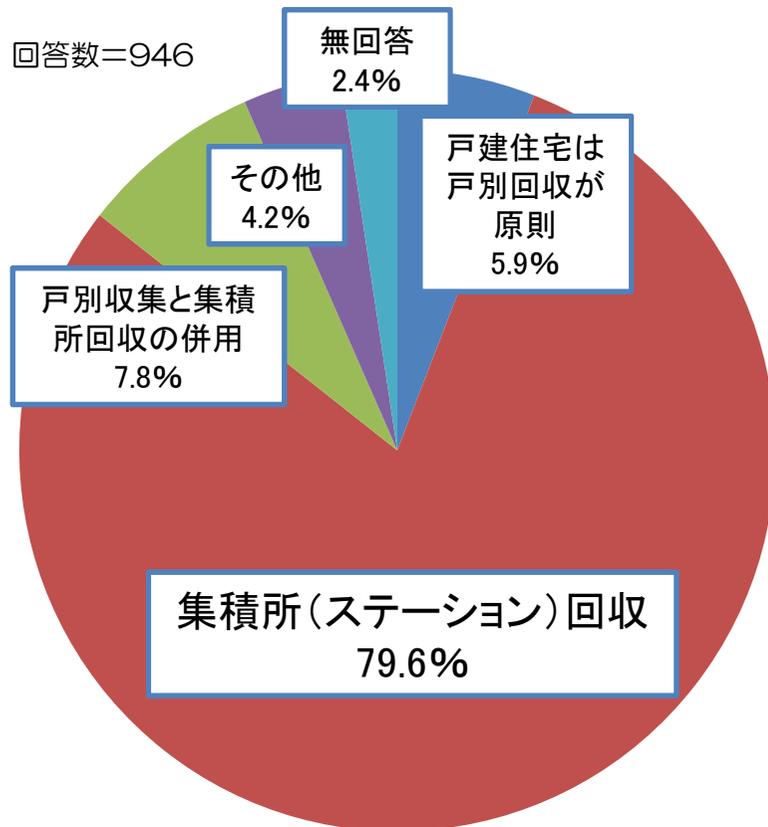
事業所の取り組み

★舞鶴市役所

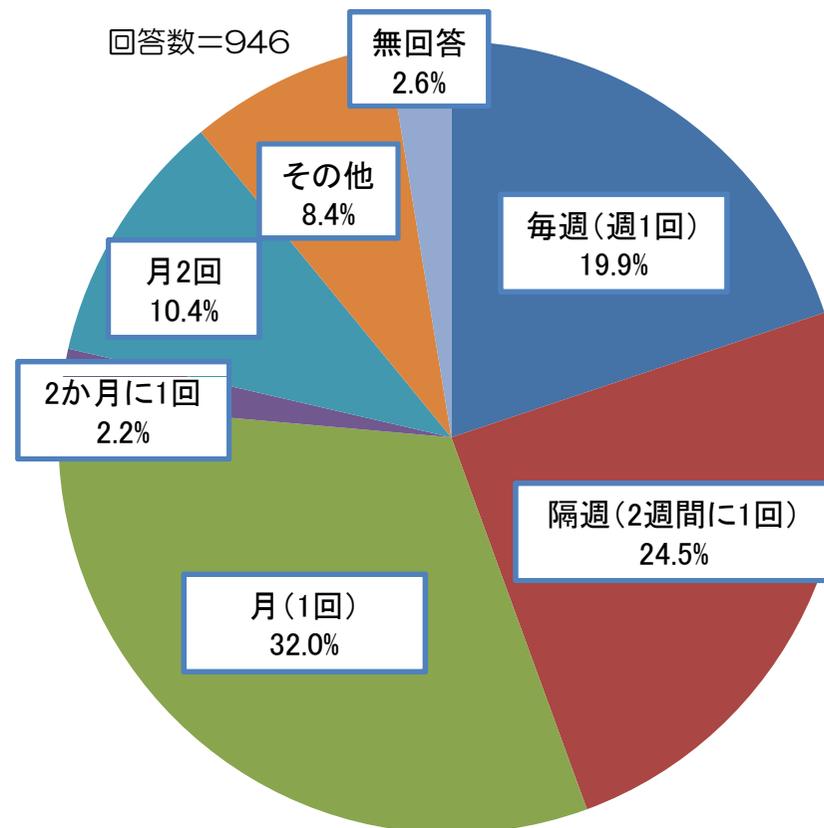
⑥-2 紙ごみ減量・資源化の取り組み

排出機会の確保

行政回収の古紙排出場所



行政回収の古紙回収頻度



出典:公益財団法人 古紙再生促進センター(平成24年度地方自治体紙リサイクル施策調査報告書)

事業系紙ごみの搬入規制

⇒「事業系ごみの減量」10ページ参照

⑥-3 紙ごみ減量・資源化の取り組み

シュレッダー古紙や機密文書の資源化ルート確保①

■シュレッダー古紙（回収事業者や再生紙メーカーが扱いにくい古紙原料）

- ⇒シュレッダー古紙は紙の繊維が短く切断されてしまうため、紙の原料として使える割合が少なくなってしまう(リサイクル出来ないものではない)
- ⇒シュレッダー古紙は容量に対して重量が少ないので、保管や輸送のコストが高い

最近では・・・

- ⇒繊維を裁断しない機種やリサイクルできる大きさに裁断する機種など、資源化に配慮した機種も販売されている。

■プライバシー、機密文書の扱い

- ⇒氏名や住所など個人情報に記載されている資料や機密文書などは可燃ごみとして処理されやすい
- ⇒機密文書进行处理する場合は、シュレッダー裁断か焼却処理が一般的。

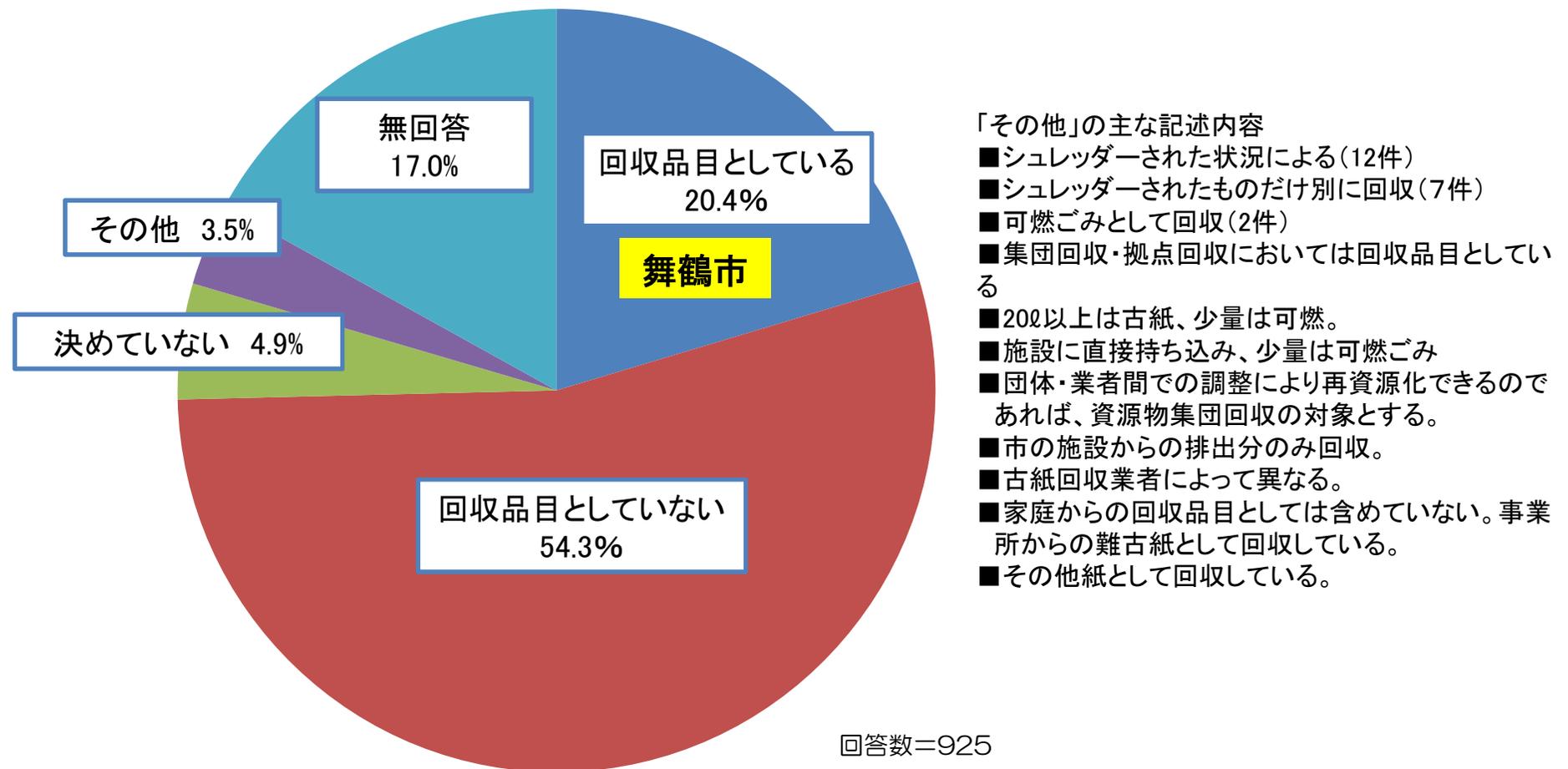
最近では・・・

- ⇒資源化を前提とした外部の機密文書処理システム(出張裁断、引取裁断、引取溶解など)を利用する企業も増加。
- ⇒ただし、近隣に取扱事業者がない

⑥-4 紙ごみ減量・資源化の取り組み

シュレッダー古紙や機密文書の資源化ルート確保②

行政回収でシュレッダーした紙を雑がみの回収品目に含めている割合



⑥-5 紙ごみ減量・資源化の取り組み

事業所の取り組み(舞鶴市役所)

■各部署で、紙ごみの分別徹底を実施

⇒各課で古紙分別ボックスを設置。

⇒用途に応じて裏紙を利用するなど、出来る限り再利用に取り組む



古紙分別ボックス
(生活環境課)

■各部署から排出される古紙は庁舎内の古紙倉庫で保管。

⇒ ①新聞紙

②段ボール

③その他

④シュレッダーごみに分別

⇒古紙再生事業者に売却(約30トン/年)



▲市役所内の古紙倉庫

■機密文書は市外の溶解処理できる古紙再生事業者で処理

⇒約13トン/年

⑦ 本市での今後の取り組み案

① 紙ごみを出さない取り組み(ごみ減量)

★ごみ減量の広報啓発活動

★ペーパーレス化の推進

古紙回収量の減少そのものが悪いわけではない

② 出来る限り資源化

★排出機会の確保

市民や事業所が資源ごみとして出し易い環境づくり

★事業系紙ごみの搬入抑制

資源化できる紙ごみを焼却処理させない

★シュレッダー古紙や機密文書の資源化ルートの確保

★分別の徹底(広報啓発活動)